

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・美術科

端末で写真撮影を行うことで、場所のイメージから主
主題（ピクトグラム作成）を生み出し、身の回りの課
題を明確にする。

1 学習場面

調査活動（個別学習）

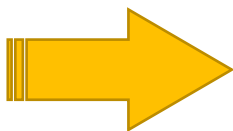
2 本時の目標

目的や条件などをもとに、伝える相手や施設、場所のイメージから主題を生み出すことができる。

3 授業内容をアップデート

Before

身の回りの課題をスケッチ
やメモで記録する。



After

身の回りの課題を**端末で写真撮影**
することで、現場の**正確な情報を**
参考にすることができ、**記録の時**
間を大幅に短縮できる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○写真から**正確な情報**をつかみ、新たな課題発見に繋がる。

★課題発見、解決の視点で写真撮影を行う。

★撮影するときは、通行人等が映らないように注意する。



課題となる現場を写
真撮影することで、
教室での活動にて、
何度も正確に確認す
ることができます。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・美術科

端末上で**画像を透過させて、二つの画像を合わせる**ことで、情報を収集し調べる。

1 学習場面

思考を深める学習（個別学習）

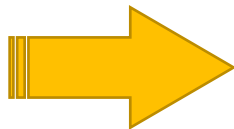
2 本時の目標

目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

絵を横に並べて、気付いたことや共通点を見つける。



After

端末上にて、**片方の画像を透過させて、重ね合わせる**。また、**画像を拡大**することができる。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

- 新たな気付き**が生まれやすく、**共通点・相違点**がわかりやすい。
- 画像の拡大により、**見えづらい部分が明確**になり、様々な発見に繋がる。
- ★気付いたことや共通点から作者の心情や表現の意図、創造的な工夫などについて考えていく。



<https://stock.adobe.com/> ※Adobe Stock

<https://publicdomainq.net/>

※パブリックドメインQ：著作権フリー画像素材集

5 情報活用能力との関連

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り・改善

発見

収集

整理、比較、処理、統計

形成、発信、伝達、表現、創造

振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・美術科

端末上で、制作したピクトグラムを**共有スペースに貼り付け**、他者から意見をもらい、客観的に作品を見つめなおし、友達と互いに学び合う。

1 学習場面

協働での意見整理（協働学習）

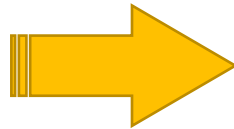
2 本時の目標

伝える目的や条件などをもとに、伝える相手や内容、社会との関わりなどから主題を生み出し、伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考え表現できる。

3 授業内容をアップデート

Before

作品を鑑賞するために、自席から移動し、意見を伝える際、紙付箋を貼る。



After

端末上で**すべての作品を鑑賞できる**。意見について、**付箋機能**を使って相手に伝える。

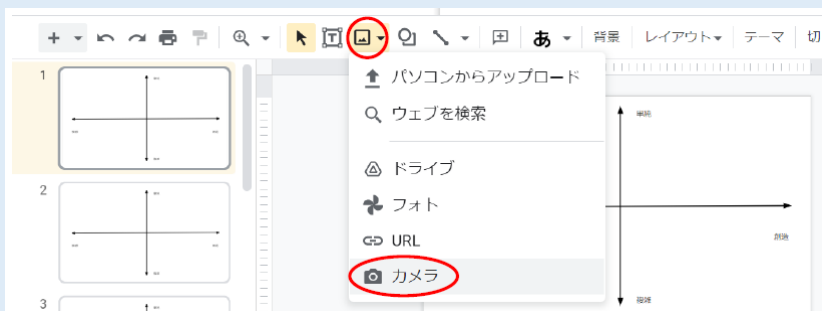
4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○**煩雑にならず**、落ち着いて鑑賞、意見交換ができる。

★他の人の作品から良さや面白さなど発見させる。

★自分の作品について、他者から意見をもらい、客観的に作品を見つめさせる。



5 情報活用能力との関連

課題の設定	情報の収集	整理・分析	まとめ・表現	振り返り・改善
発見	収集	整理、比較、処理、統計	形成、発信、伝達、表現、創造	振り返り、改善

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムとの関連

見いだす

自分で取り組む

広げ深める

まとめあげる

中・美術科

共同編集シートにより、本時の自らの鑑賞を振り返り、生徒同士で振り返りを共有し、学んだことをまとめる。

1 学習場面

発表や話し合い（協働学習）

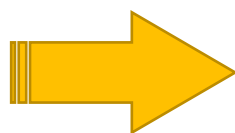
2 本時の目標

作者や作品の背景について知るため、視覚や他者の言葉から必要な情報を受け取ることができる。情報を分析整理して、自分なりに価値を作り上げることができる。

3 授業内容をアップデート

Before

生徒は振り返りをノートやワークシートに記入する。



After

生徒は**共同編集シート**に振り返りを入力し、他生徒と振り返りを**共有**する。

4 学習のポイント

○期待される効果 ★留意点

○他生徒の**振り返りの様子を共有**することができる。また、**他者との相違点や比較が容易**となり、学習の深まりを実感させることに繋がる。

★導入時において、素直に感じた鑑賞の感想を協働編集シートに入力させていれば、自分自身の感じ方の変化に気付くことができる。

A	B	C	D
氏名	一枚の絵画を見て、何が描かれていたかまたどのように感じたか	自らの鑑賞の振り返り	最初に比べて、自分自身はどのように変化したか
○○ ○○			

「見いだす」において、絵を見て感じたこと等を協働編集シートに入力

「まとめあげる」において本時の振り返りとして、協働編集シートに入力、「見いだす」からの自身の変化や、他者の振り返りが容易に確認できる

5 情報活用能力との関連

課題の設定

情報の収集

整理・分析

まとめ・表現

振り返り・改善

発見

収集

整理、比較、処理、統計

形成、発信、伝達、表現、創造

振り返り、改善